

第25回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨（案）

開催日時 令和2年2月27日（木）10:00～12:00

開催場所 常陸河川国道事務所 2階 会議室 F・G

<議事等>

1. 移動性関係議題について
 - 1-1 今回の報告内容と審議事項
 - 1-2 ②最新の交通状況による分析
 - 1-3 ③渋滞対策箇所の効果確認
 - 1-4 ④主要渋滞箇所の見直し
 - 1-5 ⑤優先検討箇所の検討状況
 - 1-6 ⑥ピンポイント渋滞対策について
 - 1-7 その他（道路交通アセスメント制度について）
2. 安全性関係議題について
 - 2-1 これまでの経緯
 - 2-2 第23回委員会における主な指摘事項と対応
 - 2-3 これまでの事故ゼロプランの取り組み
 - 2-4 新たな事故危険区間【第5期】（エリア）について
 - 2-5 生活道路に関する取り組みについて
 - 2-6 今後のスケジュール



<主な意見>

1. 移動性関係議題について

1-1 今回の報告内容と審議事項

○特に意見なし。

1-2 ②最新の交通状況による分析（検討状況の報告）

- 委員長代理** ○民間プローブデータとは具体的にはどのような情報が含まれたデータなのか。
- 事務局** ○DRM リンクごとに、15分間隔で旅行時間や情報件数が格納されたデータである。
- 委員長代理** ○「渋滞状況の変化に関するアンケート調査」の結果は、回答者に対するフィードバックは行っているか。
- 事務局** ○本日の委員会がフィードバックの場であると考えている。また、本日の会議資料はホームページに掲載し公開する予定である。
- 委員長代理** ○会議資料に掲載していない細かい整理も実施していることと思うが、そのようなデータについても可能な範囲で、回答者にフィードバックすることも重要である。

1-3 ③渋滞対策箇所の効果確認

- 委員** ○速度状況図は、ETC2.0データをどのように加工して作成しているのか。
- 事務局** ○ETC2.0では、車両の走行履歴情報が200m間隔で収集されている。速度状況図は、対象リンクを通過する車両の通過時間の平均値を示したものである。
- 委員** ○知手交差点は工業団地への入口となる交差点であり、朝のピーク時間帯は国道124号からの左折交通による混雑が残存していると認識している。

委員 ○木崎西交差点についても従道路側を含めた臨港地区全体で、工業団地での定期的な修繕等があり、その半年程度の期間は工事車両も増え、特に混雑がひどくなると認識している。

委員長代理 ○対策実施後の誘発交通により交通量が増加したことも考えられる。また、信号交差点連担による先詰まりや本線側信号との連動性にズレが生じた可能性もある。

○知手・木崎西の両交差点について、主要渋滞箇所の解除は行わないものとする。

○今後、対策の効果を議論する際には、対策前後の信号現示（周辺交差点との連動性含む）や交通量等の基礎データを収集・整理し、説明していただきたい。

1-4 ④主要渋滞箇所の見直し

委員長代理 ○特に意見がないことから、上大野東交差点の継続モニタリングは終了する。

1-5 ⑤優先検討箇所の検討状況（検討状況の報告）

委員長代理 ○次回は、具体の渋滞要因や考えられる対策案等について議論する。優先検討箇所抽出時の絞り込み条件以外の要素も渋滞発生要因となっている可能性があり、優先検討箇所の見直しも含めて議論することを検討いただきたい。

1-6 ⑥ピンポイント渋滞対策について（対策箇所の速報）

委員長代理 ○公設市場前交差点は、対策実施後にボトルネック箇所が移動したことも考えられる。今後の効果確認では、前後区間の速度状況も確認し、報告をお願いしたい。

1-7 その他（道路交通アセスメント制度について紹介）

委員長代理 ○渋滞対策は、道路管理者による対策だけでなく、大規模商業施設の立地者等の原因者による取組も必要である。

2. 安全性関係議題について

2-1 これまでの経緯

○特に意見なし。

2-2 第23回委員会における主な指摘事項と対応

委員長代理 ○第2当事者の高齢者の事故特性については、特に第1当事者の場合と変わりはないということか。

事務局 ○前回委員会で、高齢者の第2当事者事故についてご指摘を頂き、第2当事者の年齢別事故特性を分析した。結果、高齢者は、追突・出会い頭とも第1当事者事故より比率が小さいということが分かった。

委員長代理 ○事故件数とヒヤリハット体験回数との関係は、概ね比例しているが、中には「事故件数は多いが、ヒヤリ体験回数が少ない箇所」、「事故件数は少ないが、ヒヤリ体験回数が多い箇所」もある。特にどのような箇所に注意し対策を行うのか。

事務局 ○まずは、ヒヤリ体験が多く事故件数も多い箇所の対策を優先させたい。

2-3 これまでの事故ゼロプランの取り組み

委員長代理 ○対策効果が出ていないところは、今後どうフォローするのか。

事務局 ○追加対策検討を行い、次回以降の委員会でお示ししたい。

委員長代理 ○詳細な対策の実施内容と状況の変化も合わせて整理して頂きたい。事故件数自体は年々減少傾向にあるため、県全体の事故件数の減少率と見比べながら評価するということが検討して頂きたい。

2-4 新たな事故危険区間【第5期】(エリア)について

委員長代理 ○【第5期】(エリア)については再度抽出を行うとのことだが、抽出規準が国管理、県管理の道路を含めているため、生活道路に着目した抽出が難しいのではないか。市町村へのヒアリングが有効と思われるがどうか。

事務局 ○ヒアリングも含め、選定の考え方を再度検討したい。

2-5 生活道路に関する取り組みについて

委員長代理 ○茨城県は、生活道路対策エリアの登録に積極的に取り組まれているとのことなので、登録された市町村との協働の取組も期待したい。

2-6 今後のスケジュール

○特に意見なし。

以 上